

政策提言フォーマット

1 団体概要

団体名

環境国際総合機構

所在地

〒103-0027
東京都中央区日本橋3 - 3 - 5
新日東ビル4F

代 表

江口雄次郎

担 当

清水 博

連絡先 tel

03-3510-6678

fax

03-3510-6824

e-mail

shimizu@rebacs.co.jp

団体の活動プロフィール

別紙 パンフレット、今後の活動予定 参照

広範囲な課題を包含する環境問題を解決するために、「知恵」の連鎖の
必要性を重要と考え、その思考活動を螺旋的に昇華させる「場」の形成と、
グローバルな視点とローカルな活動をリンクさせることにより、循環型社会
形成に向けて活動を開始致しております。

政策提言フォーマット

2 政策提言概要

(1) テーマ アジア・日本における環境共律モデルの創生
(2) 政策対象分野 1. アジアにおける社会・経済発展と循環型社会の形成(マテリアル大循環) 2. 経済開発・人口増大に伴う郊外・環境破壊に対する公害防止環境保全修復 3. ハイテクからローテクまでの教育とそれぞれの地域風土を基礎とするプラン 4. 社会病理の予知・予測・防止・更正・再生モデルの構築
(3) 政策手段 1. 情報社会資本の形成と環境情報の集積・公開・共有活動 2. アジア環境サミットin OKINAWA開催と持続的な支援活動 3. アジア環境情報センターの開設と新規雇用と新産業の創出 4. 分野別コンテンツ整備と多言語発信による環境資源の活用
(4) 提言概要 1. 人類共有の財産である地球(アジア)の環境に対し、(加害者としても関与してきた)日本は、新しい秩序構築のための技術・資本・人材を提供する能力をもつ(豊かな国だと考える)。アジア地域が環境の再生能力を超え、生態系の破壊、砂漠化など、生命の生存不能になる前に具体的な支援を示さなければならぬ磁気が到来している。その立場から広くアジアの人々と共に、環境情報を共有化し、環境保全・修復に資する技術・システムを作り、どう情報交換システムの構築、環境保全・修復実現のために、環境NGOとのれん系を図り、知恵の環を形成しその目的を実現していくこととしたい。 2. NGOである弊会は垂直水平統合ネットワーク型(Glocal-グローバル)であり、(持続的な)個人の集まりであり、アジアに長く友人を作りつづけて来ている。個人群が中心となりアジアモデルともいうべき、「アジア循環型社会構築」と、それを支える「心の環境整備」の二軸から、地域全体を視野に置き、その未来を開こうとする試みである。 3. そのための「場」の形成と「知恵の環」の支援を担う、アジア環境情報システムの早期立ち上げと、知恵のリンク・共創をもとに、共同の価値観、共有のルールをもつアジア循環型社会構築モデル(共律)を構築する。